

下諏訪南小学校改築工事竣工式・5月15日(金)

お礼のことば

児童会長
中井 万結

約三年間の長い工事も終わり、真新しい新校舎が完成しました。工事関係者のみなさん、ありがとうございました。校舎全体が明るくなり、毎日楽しく過ごることができています。旧校舎の時からあるスイミー広場は、

- 竣工式 次第
- 開式のことば
- 町長あいさつ
- 来賓祝辞
- 祝電披露
- 感謝状贈呈
- 施業者代表あいさつ
- 謝辞(学校長)
- お礼のことば(児童会長)
- 校歌斉唱
- 閉式のことば

新しい校舎に変わっても、またもとのように南小にもどってききました。新校舎になってもスイミーといっしょに過ごすことができうれいす。そして、南小の先ばいたちが残してくれたいメッセージをこれからも大切にしていきます。まどから見る中庭の景色も、とてもきれいです。川が新しくできて、みんなで遊べる日を楽しみにしています。学年ごとのきよりもちぢまり、前よりも仲が深まりました。たくさんのお友達ができて、うれいすです。私がこの校舎になつてうれいかったことは、トイレの水道が自動で出ること、いやなにおいのない明るいトイレになったことです。前の校舎のトイレは少し暗くて、一人で行くのがこわい時がありました。でも今のトイレは明るいので、安心して行くことができます。黒板が上下に動くことで、遠くからでも見やすく、勉強がしやすくなりました。こんなすばらしい校舎を作っていたので、私たちみんな



お礼のことばを述べる中井万結児童会長

ながやらなくてはいけないことがあります。それは時間がたつてもずつと変わらず、きれいに保つていくことです。そうじを一生けん命やり、校舎を大切に使つていきたいです。これからもこの明るく楽しい学校で、みんなで仲良く生活していきます。この校舎を作つて下さつて、本当にありがとうございます。

下諏訪町立図書館 おすすめ本コーナー

昭和30年に出版された石井桃子の「子どもの図書館」は子どもと本に関わる人のバイブルでした。そして今年、平成のバイブルとなるべき本が出版されました。松岡享子著「子どもと本」岩波新書です。育児に関わる人も、本に関わる人も必見です。図書館では古い本も新しい本も見られます。比べて読むと、いっそう楽しいですよ。

(井上 喜久美)



公民館特別事業 「みんなの願いはただひとつ」

特別展 ～いっしょに考えてみませんか～

期 日：8月4日(火)～8月17日(月)
会 場：下諏訪総合文化センター1階
展示コーナー
内 容：絵の展示及びビデオの視聴。
戦争当時の今井邦子の短歌作品の展示。

特別講座

～工作教室&読み聞かせ会～

期 日：8月6日(木)
会 場：下諏訪総合文化センター
内 容：好きな木端を磨いて作品作り
大型絵本の読み聞かせ
「戦争童話」上映会

町民総合文化祭 参加団体募集

参加申込用紙は文化センター内公民館窓口にあります。 ☆新規参加団体歓迎

	開催日	申込締切	対象者
作品展	10月2日(金) ～10月4日(日)	9月1日(火)	町民および町内の 各種団体・学校 ※作品展は個人も対象となりますので、ご相談ください。
芸能展	10月4日(日)		
音楽展	10月18日(日)		

(問合せ・申込先) 下諏訪町公民館 28-0002

町民大学 下諏訪を学ぶ ③

演 題：「諏訪法性兜と信玄伝説」
講 師：宮坂 徹 諏訪湖博物館・赤彦記念館 前館長
日 時：8月30日(日) 午後1時30分～午後3時00分
会 場：文化センター集會室 ※当日受付可(受講料100円)



諏訪法性兜
(諏訪湖博物館所蔵)

武田氏が諏訪を領有したのは、永正15年から天正10年までの40年間でした。諏訪神社上社の神長官家であった守矢家に伝えられていた諏訪法性兜は、武田信玄にまつわる兜として大変有名ですが、謎の多い兜でもあります。諏訪にはこの兜とともに、信玄にまつわる伝承が数多く残されています。諏訪氏を滅ぼし40年にわたって領有した諏訪の地に、なぜ多くの信玄伝説が残されてきたのか、その謎を解き明かそうと思います。(講師コメント)

お問い合わせ ☎28-0002 (生涯学習係)

ハレの日

八月は小中学生にとって、一年間の中で最も楽しみにしている月のひとつかも知れない。七月下旬から始まる夏休みは三週間ほどにも及ぶ。濃い木々の緑やぎらぎら照りつける太陽、まぶしいほどの川面の輝き、ランニングシャツに半ズボン、近所の子どもたちと群がって遊んだ小学生時分の夏の情景が懐かしく思い出される。

水泳は二キロほど離れた市営プールに行つた。背泳ぎらしきものは比較的早く出来るようになったが、私が最も憧れていたクロールはなかなか出来るようにはならなかった。息継ぎをどのタイミングでどうするかは私にとって長年の悩みであった。

「習うより慣れる」「学ぶより真似ぶ」を信じ、ひたすら練習を重ねてようやくマスターしたのは教師になる前の年であった。

小学生時分から「出来ないことへの苦惱体験」は泳げない子を泳げるようにするのに大いに役立った。

(小沢貞義)

